



城南だより



令和8年4月6日(月)
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

令和8年度のスタートにあたって

校長 濱野 建児

御入学・御進級、誠におめでとうございます。

保護者の皆さまにおかれましては、お子さまの新たな門出を心よりお喜び申し上げます。

ようこそ、都立城南特別支援学校へ。

令和8年度は、新入生 25 名を迎え、小学部 62 名、中学部 28 名、高等部 35 名、全校 125 名で学校生活をスタートいたしました。

子どもたちは、それぞれの学部・学年において、新しい環境の中で一步を踏み出しています。

本校は、昭和 44 年の開校以来、地域とともに歩んできた特別支援学校です。

今年度の入学式で、小・中学部は第 58 回、高等部は第 55 回を迎えました。

これまで多くの児童・生徒を迎え、そして社会へと送り出してきた歴史があります。特に高等部においては、卒業後の進路や社会参加を見据えた教育を大切にしてきました。地域に巣立った高等部卒業生は 600 名を超え、それぞれが地域の一員として、就労や福祉サービスの利用、地域活動などを通して、人とのつながりを大切にしながら生活しています。こうした卒業生の姿は、本校が長年にわたり「社会とつながる学び」を積み重ねてきた成果であり、私たちにとって大きな励みとなっています。

本年度も、これまでの実践と伝統を大切に受け継ぎながら、児童・生徒一人一人の実態に応じた進路指導・キャリア教育の充実に取り組んでまいります。

また、本校では、医療的ケアを必要とする児童・生徒も在籍しています。看護師・教職員・関係機関が連携し、一人一人の状態に応じた支援体制を整え、安全・安心を最優先にした教育活動を行っています。

学校生活における「安心」は、学びの土台です。児童・生徒が落ち着いて過ごし、自分の力を発揮できる環境づくりを、教職員全員で大切にしています。

本校の校章には、校名「城南」の周りに竹があしらわれています。校庭の一角には、今も力強く育つ竹藪を見ることができます。竹の花言葉には「節度」などがあり、しっかりと根を張り、節目ごとに成長していく姿が象徴されています。児童・生徒一人一人が、竹のように確かな土台を築きながら、自分のペースで成長し、やがて社会へとつながっていくことを、教職員一同、心から願っています。

保護者の皆さま、地域・関係機関の皆さまと連携しながら、子どもたちの学びと成長を支えてまいります。本年度も、温かい御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。